

令和4年第2回定例会総体質問通告事項

3 月 9 日	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 市民の安心・安全なくらしをまもる施策について</p> <p>(1) 憲法違反の発言について</p> <p>ア 岸田首相の「敵基地攻撃能力の保有」発言の撤回を求めるべきではありませんか</p> <p>(2) コロナ対策について</p> <p>ア 無症状者を含めた検査の拡大が必要だという立場に認識を發展させますか</p> <p>イ 市内1カ所だけでなく生活圏域にPCR検査センターをつくるべきではありませんか</p> <p>ウ 各支所にPCR検査センターをつくるべきではありませんか。またそれができるまで橋代補助を行うべきではありませんか</p> <p>(3) 原発再稼働に対する懸念について</p> <p>ア 尾道市に1万人を超える避難者を受け入れる避難所はありますか</p> <p>イ 避難者の最大受け入れ人数、これまでの実績は何人ですか</p> <p>ウ コロナ禍の中、どの程度の受け入れが望ましいか</p> <p>エ 老朽化した島根原発を再稼働させることに懸念を示すべきではありませんか</p> <p>2 中学校全員給食の実施時期を早められないか</p> <p>(1) 小学校、中学校の児童生徒数と尾道市の最大調理可能数はいくらですか</p> <p>(2) 後者が大であれば、今年から全員給食が実施できるのではないですか</p> <p>(3) 後者が小であっても、民間の調理機関を使って対応ができないのですか</p> <p>(4) 向島中学校の必要な食数はいくらですか。向島の中のすべての小中学校の最大調理可能数はいくらですか</p> <p>(5) 尾道の栗原中、日比崎中、吉和中、久保中、長江中、高西中、美木中の必要な食数はいくらですか。尾道地域の最大調理可能数はいくらですか</p> <p>(6) 因北中、重井中の必要な食数はいくらですか。給食センターの最大調理可能数はいくらですか</p>	

3 月 9 日	<p>3 しまなみ海道の「生活割引」実現の取り組みについて</p> <p>(1) 「生活割引」の趣旨に基づいて、地元国会議員に要望活動を行いましたか</p> <p>(2) まだであれば、いつ行いますか</p> <p>(3) 国による「生活割引」が実現するまでの間、尾道市として一定の軽減措置を実施すべきではありませんか</p> <p>(4) 精神障がい者の通院交通費補助制度をつくるべきではありませんか</p> <p>4 尾道駅前、商店街のにぎわいづくりについて</p> <p>(1) 駅前にのぎわいづくりのためにも土堂小学校の現地改修を実施すべきではありませんか</p> <p>(2) 現地再開の可能性についてどう考えていますか</p> <p>5 若者が定住できるまちづくりについて</p> <p>(1) 定住のためには安価な住宅が不可欠です。公営住宅の新設、維持補修計画を若者定住対策という観点から洗い直すべきではありませんか</p> <p>(2) 空き家などを新婚家庭用に改修して、安価な賃料で結婚生活がスタートできる「結婚スタート貸家制度」を検討すべきではありませんか</p> <p>6 市民のくらしを支える施策について</p> <p>(1) 下水道使用料値上げ案、撤回について</p> <p>ア コロナ禍の中で、ライフラインである下水道使用料値上げをすべきではないのではありませんか</p> <p>イ 値上げ時期が悪すぎるのではありませんか</p> <p>ウ 下水道使用料を値上げして、基準外繰り入れをなくすことを目標にかかげていますが、県内でも多くの自治体が基準外繰り入れをして、市民負担の軽減に努めています。そのことをどう評価、認識されていますか</p> <p>エ 浄化槽の維持管理の負担はどうなっていますか。その積算根拠を示してください</p> <p>オ 不均衡の是正は値上げだけではなく、一方の負担軽減による方法もある。下水道使用料の方が負担が軽いと言うのなら、浄化槽の維持管理費用の軽減を図る補助制度を検討すべきではありませんか。これは検討したのですか</p>
------------------	--

<p>3 月 9 日</p>	<p>(2) 国民健康保険料の引き下げについて</p> <p>ア 子ども均等割軽減措置を小学生までにすると予算はいくらかかりますか。中学生まで、高校生までだといくらかかりますか</p> <p>イ 来年度は小学生まで、次年度は高校生までと計画的に制度を拡充すべきではありませんか</p> <p>ウ 今年度の国保料引き下げ額はどの程度まで可能とお考えですか</p>
----------------------------	--